

(1) 岡山大学

① 開講期間・試験期間・授業時間について

開講期間	第1学期	2019年4月8日	～	2019年6月11日
	第2学期	2019年6月13日	～	2019年8月9日
	第3学期	2019年10月1日	～	2019年11月29日
	第4学期	2019年12月2日	～	2020年2月10日
試験期間	第1学期	2019年6月上旬		
	第2学期	2019年8月上旬		
	第3学期	2019年11月下旬		
	第4学期	2020年2月上旬		
授業時間	1限	8:40	～	9:40
	2限	9:50	～	10:50
	3限	11:00	～	12:00
	4限	12:50	～	13:50
	5限	14:00	～	15:00
	6限	15:10	～	16:10
	7限	16:20	～	17:20
	8限	17:30	～	18:30

※夜間主コースの授業については、第1, 第2学期を前期授業期間とし、第3, 第4学期を後期授業期間とする。

※補講については、土曜日又は授業担当教員が指定した日に行う。

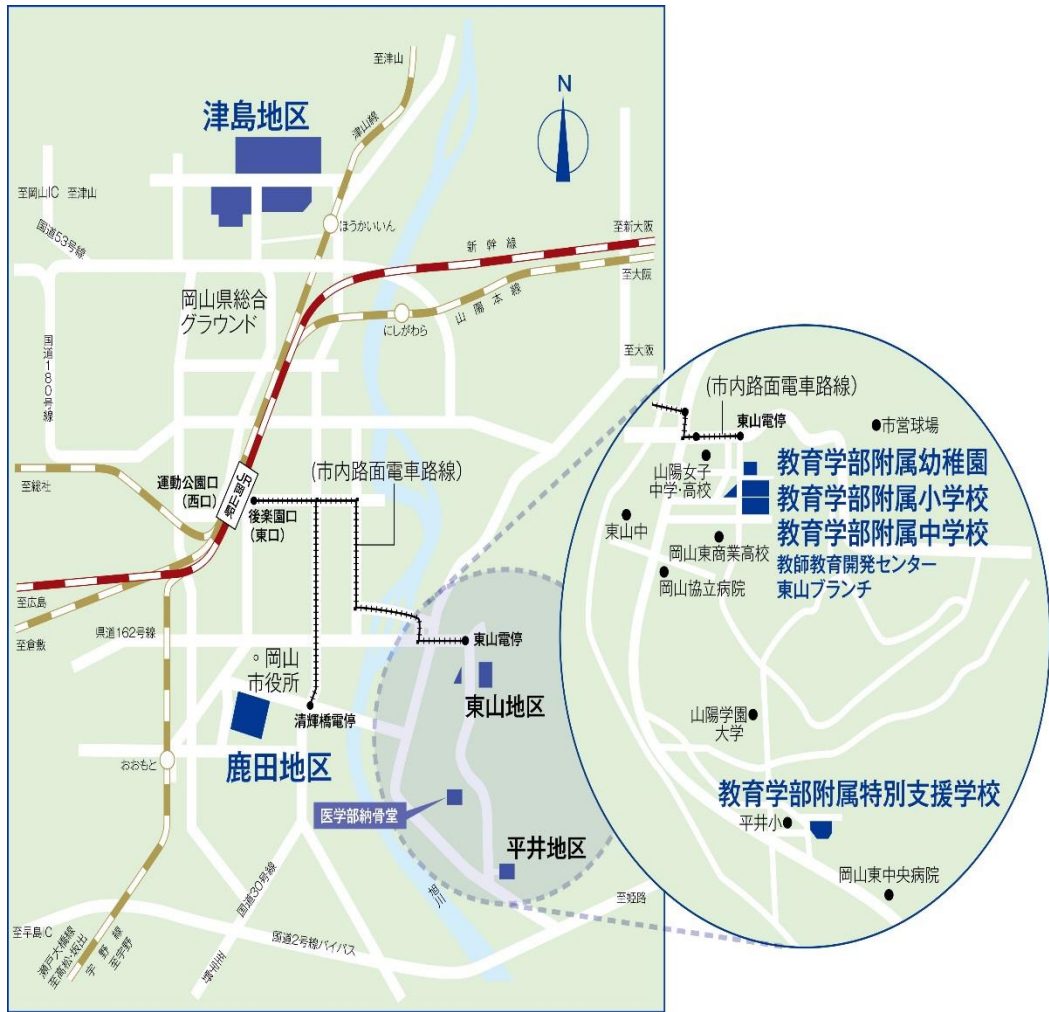
② アクセス(案内図)

津島キャンパスへ

- JR岡山駅 西口広場2階タクシー乗り場から約7分
- JR津山線「法界院」駅下車, 徒歩約10分
- JR岡山駅→岡電バス
 - ① 岡山駅西口バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車, 「岡大入口」, 「岡大西門」, 「福居入口」又は「岡大東門」で下車。
(所要時間約7～10分)
※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。
なお, 「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
 - ② 岡山駅東口バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車
「岡大東門」, 「岡大西門」又は「福居入口」で下車。(所要時間約30分)
 - ③ 岡山駅東口バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き
【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き, 【36】系統「辛香口」行き,
【86】系統「運転免許センター」行きに乗車,
「岡山大学筋」で下車→大学まで徒歩。(所要時間 バス約10分, 徒歩約7分)

鹿田キャンパスへ

- JR岡山駅 東口タクシー乗り場から約7分
- JR岡山駅→岡電バス
 - ① 岡山駅東口バスターミナル4番乗り場【2H】系統「大学病院」行きに乗車, 「大学病院」
(構内バス停)で下車。又は【12】系統「岡南営業所」行きに乗車, 「大学病院入口」で
下車。(バス所要時間約15分)
 - ② 岡山駅東口バスターミナル3番乗り場から【22】系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい
病院」行き, 【52】系統「(市役所経由)当新田・大東」行き, 【62】系統「南ふれあいセンター・
岡南飛行場」行きに乗車, 「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約15分)
- 路面電車
岡山駅前の電車乗り場から「清輝橋」行きに乗車, 終点「清輝橋」下車 →大学まで徒歩
(所要時間 電車約10分, 徒歩約8分)



岡山大学公式ホームページ「交通アクセス」
 (<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

③ 担当窓口

学務部学務企画課

所在地: 津島東キャンパス 一般教育棟A棟2階



津島地区東キャンパス

E1	南福利施設(ビー子ユニオン) 学生会館	E4	学生総合支援センター-学生相談室 学務部 グローバル・パートナーズ グローバル人材育成院	E6	清水記念体育館
E2	全学教育・学生支援機構 学生総合支援センターキャリア・学生支援室 アドミッションセンター	E5	一般教育棟 全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター-障がい学生支援室 学生総合支援センタースポーツ支援室 グローバル・ディスカバリー・ プログラム設置準備室	E7	第二体育館
E3	保健管理センター 一般教育棟			E8	第一武道館
E4	全学教育・学生支援機構 高等教育開発推進室 教育開発センター 基幹教育センター			E9	第二武道館
				E10	体育管理施設
				E11	校友会文化系クラブ棟
				E12	校友会体育系クラブ棟
				E13	校友会トレーニング棟
				E14	宿舎

電話: 086-251-7170(直通)

④ 開講大学からの連絡事項

・ 履修申込期限

第1・2学期:4月5日(金)まで 第3・4学期:9月27日(金)まで

所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。なお、対面授業科目の申込期限は延長しません。

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

1. 第1・2学期:4月8日, 第3・4学期:10月1日から, 以下の印刷物を配付します。対面授業科目の履修者は, 必ず受け取りに来てください。また, その際, 講義室の場所をお知らせしますので, 初回授業までに時間の余裕を持って来てください。
 - ① キャンパスマップ (学務部学務企画課)
 - ② 学生証(単位互換履修生証) (学務部学務企画課)
 - ③ 自動車通学許可申請書類(希望者のみ) (学務部学務企画課)
2. 岡大ID・パスワード通知(希望者のみ) (情報統括センター)
3. 自動車通学を希望する場合は, 許可が必要です。(駐車料金 有料)

・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は, 図書館カウンターで, 単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

⑤ 各科目のシラバス

ホームページ シラバス掲載URL

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html
(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

・対面授業科目

対面授業(教養教育科目)				01001
授業科目名:子どもの歴史の学び方			担当教員氏名:桑原敏典	
Perception of history controversy and History education				
履修年次 1年生～	1単位	第2学期	2コマ	60分×2(月曜 3・4限)
<p>【授業の目的】 この授業は、自分たちが受けてきた歴史教育の意義や価値を見直すことを通して、子どもの成長に教育が果たす役割や社会における教育の意義について考えることを目的としています。</p>				
<p>【授業内容】 第1回:なぜ、私たちは子どもの頃から歴史を学んできたのか 第2回:歴史教科書には何かが書かれているか 第3回:歴史教科書の記述はどうなっているか 第4回:私たちは歴史で何を学んでいるか 第5回:教科書に書かれている歴史は正しいか 第6回:教科書は歴史を通して何を伝えようとしているのか 第7回:教科書の記述はなぜ変わるのか 第8回:社会のあり方と歴史教育の役割 第9回:歴史とは何か 第10回:私たちは歴史を学ぶことができるのか 第11回:歴史はなぜ論争になるのか 第12回:どうすれば歴史をめぐる論争を解決できるのか—レポート作成— 第13回:歴史をめぐる論争が起きているか—レポート作成— 第14回:歴史をめぐる論争を解決するためにはどうすればよいか—レポート作成— 第15回:これからの歴史教育のあり方について考えよう—レポート報告— 第16回:試験</p>				
<p>【テキスト】 使用しません。</p>				
<p>【参考図書】 授業中に指示します。</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(50%)＋レポート(30%)＋コメントシート(20%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01002	
授業科目名:子どもの歴史の学び方			担当教員氏名:桑原敏典		
Perception of history controversy and History education					
履修年次 1年生～	1単位	第4学期	2コマ	60分×2(木曜 5・6限)	
<p>【授業の目的】 この授業は、自分たちが受けてきた歴史教育の意義や価値を見直すことを通して、子どもの成長に教育が果たす役割や社会における教育の意義について考えることを目的としています。</p>					
<p>【授業内容】 第1回:なぜ、私たちは子どもの頃から歴史を学んできたのか 第2回:歴史教科書には何かが書かれているか 第3回:歴史教科書の記述はどうなっているか 第4回:私たちは歴史で何を学んでいるか 第5回:教科書に書かれている歴史は正しいか 第6回:教科書は歴史を通して何を伝えようとしているのか 第7回:教科書の記述はなぜ変わるのか 第8回:社会のあり方と歴史教育の役割 第9回:歴史とは何か 第10回:私たちは歴史を学ぶことができるのか 第11回:歴史はなぜ論争になるのか 第12回:どうすれば歴史をめぐる論争を解決できるのか—レポート作成— 第13回:歴史をめぐるどのような論争が起きているか—レポート作成— 第14回:歴史をめぐる論争を解決するためにはどうすればよいか—レポート作成— 第15回:これからの歴史教育のあり方について考えよう—レポート報告— 第16回:試験</p>					
<p>【テキスト】 使用しません。</p>					
<p>【参考図書】 授業中に指示します。</p>					
<p>【成績評価の方法】 期末試験(50%)＋レポート(30%)＋コメントシート(20%)</p>					

対面授業(教養教育科目)				01003
授業科目名:交流による子どもの成長支援 I			担当教員氏名:桑原敏典	
Support of the Growth of Children through Interaction I				
履修年次 1年生～	1単位	第4学期	2コマ	60分×2(月曜7・8限)
<p>【授業の目的】 この授業は、「NPO 法人だっぴ」との連携に基づいて実施するものです。NPO 法人「だっぴ」は、大人と若者がつながり地域の未来をつくることを目指して活動しています。本授業は、「だっぴ」が取り組まれている活動のうち、中学生が大人と語り合い多様な生き方や働き方に出会って自分たちの将来について考える「中学生だっぴ」への参加を主な内容としています。中学生の精神的な成長を支援する活動に関わることを通して、今の子どもたちが何を考え、どのような不安を抱えているかを知るとともに、彼らの成長を手助けするために大人に何ができるかについて考えを深めることを目指しています。授業の実施時期は、団体がイベントを開催する時期に合わせて設定されますので、授業実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p>				
<p>【授業内容】 第1回:子どもの成長と社会 第2回:子どもの成長を支える学校と学校外の組織の役割 第3回:中学生の気持ちと心の不安—自身の体験の振り返り— 第4回:中学生の不安の克服と将来への期待—自身の体験の振り返り— 第5回:NPO 法人「だっぴ」の目的 第6回:NPO 法人「だっぴ」の活動 第7回:「中学生だっぴ」とは何か 第8回:「中学生だっぴ」の成果 第9回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割 第10回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割体験 第11回:「中学生だっぴ」の準備 第12回:「中学生だっぴ」の運営 第13回:「中学生だっぴ」の体験 第14回:「中学生だっぴ」の振り返り 第15回:活動報告会の準備 第16回:活動報告会</p>				
<p>【テキスト】 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 授業中に指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 活動への参加状況のレポート(50%) + 最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01004
授業科目名:交流による子どもの成長支援Ⅱ			担当教員氏名:桑原敏典	
Support of the Growth of Children through Interaction Ⅱ				
履修年次 1年生～	1単位	第2学期	2コマ	60分×2(月曜7・8限)
<p>【授業の目的】 この授業は、「NPO 法人だっぴ」との連携に基づいて実施するものです。NPO 法人「だっぴ」は、大人と若者がつながり地域の未来をつくることを目指して活動しています。本授業は、「だっぴ」が取り組まれている活動のうち、中学生が大人と語り合い多様な生き方や働き方に出会って自分たちの将来について考える「中学生だっぴ」への参加を主な内容としています。中学生の精神的な成長を支援する活動に関わることを通して、今の子どもたちが何を考え、どのような不安を抱えているかを知るとともに、彼らの成長を手助けするために大人に何ができるかについて考えを深めることを目指しています。授業の実施時期は、団体がイベントを開催する時期に合わせて設定されますので、授業実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p>				
<p>【授業内容】 第1回:子どもの成長と社会 第2回:子どもの成長を支える学校と学校外の組織の役割 第3回:中学生の気持ちと心の不安—自身の体験の振り返り— 第4回:中学生の不安の克服と将来への期待—自身の体験の振り返り— 第5回:NPO 法人「だっぴ」の目的 第6回:NPO 法人「だっぴ」の活動 第7回:「中学生だっぴ」とは何か 第8回:「中学生だっぴ」の成果 第9回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割 第10回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割体験 第11回:「中学生だっぴ」の準備 第12回:「中学生だっぴ」の運営 第13回:「中学生だっぴ」の体験 第14回:「中学生だっぴ」の振り返り 第15回:活動報告会の準備 第16回:活動報告会</p>				
<p>【テキスト】 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 授業中に指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)			01005
授業科目名:キャリアデザインVI 専門スキルを身につける1 初級		担当教員氏名:坂入 信也	
Career Design VI -To acquire a special skill-			
履修年次 1~4	2単位	夏季集中	
【授業の目的】 専門的講習により SCUBA DIVING の C カード(オープンウォーターダイバー)取得を目的とするとともに、美しい自然とふれあい、心豊かな人生をおくるためのきっかけづくりとする。			
【授業内容】 ◆オリエンテーション 4月24日(水) 14:30~15:30 キャリア・学生支援室 ◆講義 第1回 6月1日(土) 9:00~15:00 キャリア・学生支援室 第2回 7月6日(土) 9:00~15:00 キャリア・学生支援室		◆プール実習 8月24日(土) 8:00~17:00 岡山大学プール 8月25日(日) 8:00~17:00 岡山大学プール ◆沖縄海洋実習 9月1日(日)岡山発、講義、最終試験 9月2日(月)海洋実習1日目 9月3日(火)海洋実習2日目 9月4日(水)減圧、岡山着 ◆認定式 10月中旬ごろ Cカード発行	
【テキスト】 JULIA 又は JBDA、CMAS 等のテキスト			
【参考図書】 水中環境、水中生物、地球環境、潜水関連図書			
【成績評価の方法】 出席及び受講態度、テストにより総合評価する。この授業は、段階的な講義及び実技指導になるので欠席は不可。			

対面授業(教養教育科目)			01006	
授業科目名:キャリアデザインVI 専門スキルを身につける2中級			担当教員氏名:坂入 信也	
Career Design VI -To acquire a special skill-				
履修年次 1~4	2単位	夏季集中		
【授業の目的】 専門的講習によりSCUBA DIVINGのCカード(アドバンスド オープンウォーターダイバー)取得を目的とするとともに、美しい自然とふれあい、心豊かな人生をおくるためのきっかけづくりとする。				
【授業内容】				
◆オリエンテーション 4月24日(水) 15:30~16:30 キャリア・学生支援室		◆プール実習 8月24日(土) 13:00~15:00 岡山大学プール 8月25日(日) 13:00~15:00 岡山大学プール		
◆講義 第1回 6月1日(土) 15:00~18:00 キャリア・学生支援室 第2回 7月6日(土) 15:00~18:00 キャリア・学生支援室		◆沖縄海洋実習 9月1日(日)岡山発、講義、最終試験 9月2日(月)海洋実習1日目 9月3日(火)海洋実習2日目 9月4日(水)減圧、岡山着		
◆認定式 10月中旬ごろ Cカード発行				
【テキスト】 JULIA テキスト、配付資料				
【参考図書】 潜水関連図書				
【成績評価の方法】 出席及び受講態度、テストにより総合評価する。この授業は、段階的な講義及び実技指導になるので欠席は不可。				

対面授業(教養教育科目)				01007	
授業科目名: 金融経済学			担当教員氏名: 大熊 正哲		
Economics of Money and Banking					
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2コマ	60 分×2(木曜 7・8 限)	
【授業の目的】 成熟した市民社会の担い手に相応しい金融経済リテラシーを身に付けること。					
【授業内容】 第 1 週 ガイダンス 第 2 週 経済学の基礎 第 3 週 履修者による報告と討議(1) 第 4 週 履修者による報告と討議(2) 第 5 週 履修者による報告と討議(3) 第 6 週 履修者による報告と討議(4) 第 7 週 履修者による報告と討議(5) 第 8 週 理解度の確認					
【テキスト】 家森信善 (2019) 『金融論(第 2 版)』中央経済社。					
【参考図書】 追って指示する。					
【成績評価の方法】 プレゼン 40%, レポート 40%, 意欲・態度(課題への取組み等を含む) 20% の割合で総合的に評価。					

対面授業(教養教育科目)				01008
授業科目名:健康・スポーツ科学 C			担当教員氏名: 鈴木久雄, 小林雄志	
Health and Sports Sciences C				
履修年次 1~4	1単位	通年	1コマ	4月10日, 1月22日は必ず出席すること。水曜日18時40分より授業を開始するので要注意。
【授業の目的】 科学的な視点から運動やスポーツ, 健康について学び, スポーツ実践や健康づくりに役立てる。また, 個々人が自ら設定した課題を探究し, 理論と実践の融合をはかる。				
【授業内容】 I 4月10日(水) オリエンテーション (岡山大学一般教育棟D棟1階スポーツ支援室) II 講義1)~8)より7回以上受講すること。場所はE11教室 1) 4月24日(水) スポーツと栄養 2) 5月18日(土) 熱中症予防に関するパネルディスカッション (※教室:D13) 3) 6月19日(水) オリンピックまでの失敗と成功 4) 7月17日(水) スポーツにおける膝関節に生じる問題点について 5) 10月23日(水) スポーツと腰痛 6) 11月20日(水) メンタルトレーニングの基礎と実践 7) 12月11日(水) スポーツテクニックの進化について 8) 1月15日(水) スポーツと法 III 1月22日(水) まとめと討論 (岡山大学一般教育棟D棟1階スポーツ支援室)				
【テキスト】 テキストは使用しない。毎回, 資料およびレポート用紙を配布する。				
【参考図書】 特になし				
【成績評価の方法】 7回分の講義レポート80%, ディスカッション20%より評価する。				

対面授業(教養教育科目)				01009
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	1 学期	2コマ 火 5.6 時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履 修願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出し てください。 1 学期と 2 学期をセットで受講する ことが望ましい。
<p>【授業の目的】</p> <p>韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。</p> <p>韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。</p> <p>韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回 : オリエンテーション</p> <p>第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回 : 最終試験</p>				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01010
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	2 学期	2コマ 火 5・6 時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履 修願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出し てください。 1 学期と 2 学期をセットで受講する ことが望ましい。
<p>【授業の目的】</p> <p>韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。</p> <p>韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。</p> <p>韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回 : 最終試験</p>				
<p>【テキスト】 プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01011
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	3 学期	2コマ 火 5.6 時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履 修願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出し てください。 3 学期と 4 学期をセットで受講する ことが望ましい。
<p>【授業の目的】</p> <p>韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。</p> <p>韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。</p> <p>韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回 : オリエンテーション</p> <p>第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回 : 最終試験</p>				
<p>【テキスト】 プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01012
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	4 学期	2コマ 火 5・6 時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履 修願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出し てください。 3 学期と 4 学期をセットで受講する ことが望ましい。
<p>【授業の目的】</p> <p>韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。</p> <p>韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。</p> <p>韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回 : 最終試験</p>				
<p>【テキスト】 プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(文学部)				01013
授業科目名:人文学概説(日本思想史 a)			担当教員氏名:本村昌文	
Introduction to Japanese Intellectual History a				
履修年次 2~4	1単位	第2学期	2コマ	60分×2(月曜7・8限)
【授業の目的】 日本思想史という研究分野の概要を知り,研究テーマ,問題関心を涵養する。				
【授業内容】 日本において「死」とはどのように捉えられてきたのか?また「死」までの生き方はどのように理解されてきたのか?「死生観」に注目して,日本思想史という研究分野の概要について考える。授業では,2回で1つのテーマを扱い,(1)いくつかの資料の読解ないし視聴し,それをもとに小論を作成,(2)提出された小論をもとにディスカッション・発表・講義という形で行う。 1~2:ガイダンスー日本思想史とは何か?ー 3~4:死者はどこへ行くか?(1) 5~6:死者はどこへ行くか?(2) 7~8:霊魂は不滅なのか、消滅するのか(1) 9~10:霊魂は不滅なのか、消滅するのか(2) 11~12:長生きはめでたいことなのか?(1) 13~14:長生きはめでたいことなのか?(2) 15~16:まとめ				
【テキスト】 特になし。				
【参考図書】 本村昌文『いまを生きる江戸思想ー十七世紀における仏教批判と死生観ー』(ベリかん社,2016年)。 その他、授業中に指示する。				
【成績評価の方法】 授業で作成する小論 30%,ミニレポート 30%,最終レポート 40%				

対面授業(教育学部)				01014	
授業科目名:対話による社会参画入門				担当教員氏名:桑原 敏典	
Introduction to Public Participation through a Conversation					
履修年次 1~4	1単位	第3学期	2コマ	60分×2(金曜7・8限)	
<p>【授業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会が抱える課題を発見し、その原因を探究したうえで、社会の構成員として問題解決に取り組もうとする意欲や態度を育成する。 ・行政やNPOなど地域社会の問題解決に取り組んでいる機関が果たしている役割等を明らかにするための調査や取材の方法を理解する。 					
<p>【授業内容】</p> <p>*この授業は、時間割に定められた時間だけではなく、それ以外の時間に学外で自主的に活動する学習も含まれます。そのことを了解のうえ、受講してください。</p> <p>第1回:社会参画の意義 第2回:社会参画の方法と目的 第3回:地域社会におけるNPOの役割 第4回:NPO活動の実際 第5回:地域課題発見ワークショップの目的 第6回:ワークショップの方法 第7回:ワークショップデザイン 第8回:地域調査の企画 第9回:聞き取り調査の方法と計画 第10回:行政への聞き取り調査 第11回:NPOへの聞き取り調査 第12回:市民への聞き取り調査 第13回:地域調査の成果の整理 第14回:成果報告会の準備 第15回:地域調査の成果報告会 第16回:成果報告会の振り返りと定期試験</p>					
<p>【テキスト】</p> <p>オリジナルテキストを使用</p>					
<p>【参考図書】</p> <p>中野民夫『ワークショップ—新しい学びと創造の場』岩波新書</p>					
<p>【成績評価の方法】</p> <p>地域調査へ取り組む態度等(30点)、地域調査の成果報告(30点)、最終試験(40点)</p>					

対面授業(教育学部)				01015	
授業科目名:社会科教育特講(公民科指導法)(1)			担当教員氏名:桑原 敏典		
Method of Teaching for Civics in a Secondary School (1)					
履修年次 2~4	1単位	第3学期	2コマ	60分×2(月曜1・2限)	
【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な公民科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 公民科授業の分析視点と方法を理解する。 3. 様々な公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。					
【授業内容】 第1回:一般的な公民科授業の特徴 第2回:一般的な公民科授業の問題点 第3回:授業分析の目的と方法 第4回:公民科のねらい—市民的資質育成論— 第5回:「政治・経済」(経済領域)の授業構成 第6回:「政治・経済」(経済領域)の授業分析 第7回:「政治・経済」(政治領域)の授業構成 第8回:「政治・経済」(政治領域)の授業分析 第9回:「現代社会」(環境問題)の授業構成 第10回:「現代社会」(環境問題)の授業分析 第11回:「現代社会」(人権問題)の授業構成 第12回:「現代社会」(人権問題)の授業分析 第13回:「倫理」の授業構成 第14回:「倫理」の授業分析 第15回:公民科授業構成の課題 試験					
【テキスト】 ・社会認識教育学会編『公民科教育』学術図書出版、2010年、1900円＋税。					
【参考図書】 ・桑原敏典『中等公民的教科目内容編成の研究—社会科公民の理念と方法—』風間書房、2004年。 ・桑原敏典『小学校社会科改善への提言』日本文教出版、2004年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年、2620円＋税					
【成績評価の方法】 試験(90点)、受講態度(10点)を総合的に評価する					

対面授業(教育学部)				01016	
授業科目名:社会科教育特講(公民科指導法)(2)			担当教員氏名:桑原 敏典		
Method of Teaching for Civics in a Secondary School (2)					
履修年次 2~4	1単位	第4学期	2コマ	60分×2(月曜1・2限)	
【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な公民科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 公民科授業の分析視点と方法を理解する。 3. 様々な公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。					
【授業内容】 第1回:一般的な公民科授業の特徴 第2回:一般的な公民科授業の問題点 第3回:授業分析の目的と方法 第4回:公民科のねらい—市民的資質育成論— 第5回:「政治・経済」(経済領域)の授業構成 第6回:「政治・経済」(経済領域)の授業分析 第7回:「政治・経済」(政治領域)の授業構成 第8回:「政治・経済」(政治領域)の授業分析 第9回:「現代社会」(環境問題)の授業構成 第10回:「現代社会」(環境問題)の授業分析 第11回:「現代社会」(人権問題)の授業構成 第12回:「現代社会」(人権問題)の授業分析 第13回:「倫理」の授業構成 第14回:「倫理」の授業分析 第15回:公民科授業構成の課題 試験					
【テキスト】 ・社会認識教育学会編『公民科教育』学術図書出版、2010年、1900円＋税。					
【参考図書】 ・桑原敏典『中等公民的教科目内容編成の研究—社会科公民の理念と方法—』風間書房、2004年。 ・桑原敏典『小学校社会科改善への提言』日本文教出版、2004年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年、2620円＋税					
【成績評価の方法】 試験(90点)、受講態度(10点)を総合的に評価する					

対面授業(法学部)				01017
授業科目名:法哲学			担当教員氏名:大森 秀臣	
Philosophy of Law				
履修年次 3・4	2単位	前期	1コマ	90分×1(金曜10限)
<p>【授業の目的】 本講義は、法に関する原理的・根本的な問題を検討することを通して、法への根源的な問いを考える能力や、法への多角的な視点を養うことを目的とする。</p>				
<p>【授業内容】 本講義は、「法とは何か」「法的なものの考え方の特質とは何か」など、法の根源や全体像、法的思考にかかわるさまざまな問いについて解説する。 01 ガイダンス＋法哲学とは何か 02 法とは何か 03 法規範 04 法の妥当性 05 法と道徳 06 悪法問題 07 法による道徳の強制 08 パターナリズム 09 権利と人権 10 法的思考の特質 11 裁判の特質と機能 12 日本の法解釈論争 13 法の解釈 14 法の三類型 15 (小テスト:順不同) 16 期末試験</p>				
<p>【テキスト】 とくに指定しないが、以下の参考図書を推奨する。</p>				
<p>【参考図書】 瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、二〇一四年) 平野仁彦・亀本洋・服部高宏『法哲学』(有斐閣、二〇〇二年)</p>				
<p>【成績評価の方法】 普段の取り組みを評価するために小テスト(30点)を実施し、期末試験(70点)と合わせて総合的に成績評価する。</p>				

対面授業(理学部・教養教育科目)				01018
授業科目名:光と物理学			担当教員氏名:横谷 尚睦	
Light in Physics				
履修年次 1~4	1単位	第3学期	2コマ	60分×2(金曜5・6限)
<p>【授業の目的】 現代物理学および最先端物質科学についての教養的知識を修得する。</p> <p>授業目標: (1) 現代物理学において光がどのように理解されているかを知る。 (2) 物理学の発展に光の果たした役割を理解する。 (3) 光が現代の科学技術に対しどのような貢献をしているのかについてその一端を理解する。</p>				
<p>【授業内容】 光は私たちの生活に無くてはならない存在です。一方、光は物理学の発展に重要な役割を果たし、また、現代科学技術においても欠くことのできない存在です。本講義では、光を通して物理学の基礎概念にふれるとともに、光の発生法や利用法について解説します。</p> <p>授業計画: 1. ガイダンス 2. 光と私たちの生活 3,4 光研究の歴史I: 20世紀直前まで 5,6 光研究の歴史II: 20世紀以降 7,8 光の正体 9,10光の発生I: レーザー 11,12光の発生II: 放射光 13,14 光と物質との相互作用 15 まとめ</p>				
<p>【テキスト】 特になし。</p>				
<p>【参考図書】 必要に応じて、授業中に指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 出席、課題、レポートにより評価する。</p>				

対面授業(医学部)				01019
授業科目名:保健科学入門			担当教員氏名:齋藤 信也	
Introduction of Health Sciences				
履修年次 1	1単位	第1学期	2コマ	60分×2(火曜1・2限)
<p>【授業の目的】 健康と病気の考え方, 健康管理, 疾病予防, 保健活動などについて, 社会情勢やトピックスを交えて学ぶ。 授業をとおして学生自身が, より健康な日常生活の実践を意識することにより, 保健医療従事者としての自覚と責任感を養う。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達する自己 ・大学生活とメンタルヘルス ・人間関係形成技術の基本 ・動脈硬化 ・医療放射線被曝 ・臓器移植 ・白血病と骨髄移植 ・院内感染 ・期末試験 <p style="text-align: right;">(注:各回の順番は変更の可能性がある)</p>				
<p>【テキスト】 特に指定しない。 必要があれば授業の中で資料を配布する。</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 評価方法は期末試験(筆記試験)による。</p>				

対面授業(歯学部・教養教育科目)				01020																		
授業科目名:痛みの科学			担当教員氏名:宮脇卓也・他																			
Essays on pain																						
履修年次 1~4	1単位	第2学期	2コマ	60分×2(月曜1・2限)																		
<p>【授業の目的】 痛みは生体に対する初期警告信号であり、誰もが日常で経験するが、過剰で持続すれば生活を困難にする。痛みの種類とその発生機序、様々な病態、最新の臨床に基づいた治療法について概説する。痛みを多面的に学習することにより生体機能の恒常性に果たすその役割を理解し、日常の健康維持について考えることを目的としている。</p>																						
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 痛みの科学概説(1)</td> <td>10. 痛みの臨床(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 痛みの科学概説(2)</td> <td>11. 痛みの臨床(2)</td> </tr> <tr> <td>3. 痛みの神経解剖学(1)</td> <td>12. 痛みの臨床(3)</td> </tr> <tr> <td>4. 痛みの神経解剖学(2)</td> <td>13. 痛みの臨床(4)</td> </tr> <tr> <td>5. 痛みの神経生理学(1)</td> <td>14. 痛みの臨床(5)</td> </tr> <tr> <td>6. 痛みの神経生理学(2)</td> <td>15. 痛みの臨床(6)</td> </tr> <tr> <td>7. 痛みの神経薬理学(1)</td> <td>16. 痛みの科学のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 痛みの神経薬理学(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 痛みの臨床(1)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 痛みの科学概説(1)	10. 痛みの臨床(1)	2. 痛みの科学概説(2)	11. 痛みの臨床(2)	3. 痛みの神経解剖学(1)	12. 痛みの臨床(3)	4. 痛みの神経解剖学(2)	13. 痛みの臨床(4)	5. 痛みの神経生理学(1)	14. 痛みの臨床(5)	6. 痛みの神経生理学(2)	15. 痛みの臨床(6)	7. 痛みの神経薬理学(1)	16. 痛みの科学のまとめ	8. 痛みの神経薬理学(2)		9. 痛みの臨床(1)	
1. 痛みの科学概説(1)	10. 痛みの臨床(1)																					
2. 痛みの科学概説(2)	11. 痛みの臨床(2)																					
3. 痛みの神経解剖学(1)	12. 痛みの臨床(3)																					
4. 痛みの神経解剖学(2)	13. 痛みの臨床(4)																					
5. 痛みの神経生理学(1)	14. 痛みの臨床(5)																					
6. 痛みの神経生理学(2)	15. 痛みの臨床(6)																					
7. 痛みの神経薬理学(1)	16. 痛みの科学のまとめ																					
8. 痛みの神経薬理学(2)																						
9. 痛みの臨床(1)																						
<p>【テキスト】 必要に応じてプリント等を配布する。</p>																						
<p>【参考図書】 授業中に紹介する。</p>																						
<p>【成績評価の方法】 毎回授業終了時にレポート提出を課し、出席点と併せて総合評価する。</p>																						

対面授業(歯学部)				01021	
授業科目名:細胞生物学			担当教員氏名:沢ほか		
Biology of the Cell			定員 5 名		
履修年次 1~4	2単位	第3・4学期	2コマ	60分×2(火曜6・7限)	
【授業の目的】 ヒトの細胞の構造と機能を理解する。					
【授業内容】 1. 10月1日 タンパク合成と分泌 (沢) 2. 10月8日 細胞による消化 (沢) 3. 10月15日 細胞の骨格 (沢) 4. 10月29日 細胞の構成物質 (久保田) 5. 11月5日 エネルギーの獲得と利用 (久保田) 6. 11月12日 細胞の増殖と分化の分子機構 (久保田) 7. 11月19日 組織・器官の構成 1 (沢) 8. 11月26日 組織・器官の構成 2 (沢) 9. 12月3日 組織・器官の構成 3 (沢) 10. 12月10日 生理学と神経系 (小橋) 11. 12月17日 神経細胞の電気的特徴 (小橋) 12. 12月24日 簡単な神経回路の働き (小橋) 13. 1月7日 受容体と情報伝達機構 (十川) 14. 1月21日 薬物と酵素活性 (十川) 15. 1月28日 薬物相互作用 (十川) 16. 2月4日 試験、レポート提出					
【テキスト】 必要に応じてプリント等を配布する。					
【参考図書】 授業中に紹介する。					
【成績評価の方法】 期末に試験とレポート提出を課し、出席点と併せて総合評価する。					

対面授業(薬学部・教養教育科目)				01022
授業科目名:薬用植物学			担当教員氏名:谷口抄子	
Medicinal Botany				
履修年次 1年次	1単位	第1学期	2コマ	60分×2(火曜7・8限)
<p>【授業の目的】 植物は疾病の予防や治療に利用されてきた長い歴史があり、近代になってこれらに科学的な裏づけが加えられるようになるとともに、植物から得られた成分を元に多くの医薬品が生み出されてきている。本講義では薬用植物の医療への利用について概説する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回:授業の概要・植物とその医療への利用 第2回:植物の進化と植物分類の概要・植物成分の多様性 第3回:植物の実地観察とまとめ 第4回:原核生物～シダ植物 第5回:裸子植物・被子植物(双子葉植物:離弁花) 第6回:被子植物(双子葉植物:離弁花) 第7回:被子植物(双子葉植物:合弁花) 第8回:被子植物(単子葉植物)</p> <p>講義およびレポート作成を基本とし、演習問題によってポイントの理解を深める。また、シャトルカードにより、授業内容の理解度を確認する。</p>				
<p>【テキスト】 「最新薬用植物学」奥田拓男編(廣川書店)</p>				
<p>【参考図書】 「大系・薬用植物資源学」(京都廣川書店) 各種の植物図鑑等を参考にして、植物の形態や分類に関する学習を進めると良い。また、有機化学関係の書籍を参考にして、化合物群に共通の構造の理解を深めると良い。</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み状況(50%)およびレポート(50%) シャトルカードに反映された授業内容への理解を含む。シャトルカードには授業内容の要点を示すこと。授業内容の理解度の確認のためさらに演習問題をも行う。</p>				

対面授業(工学部・教養教育科目)				01023
授業科目名:機械システム系概論, 電気通信系概論, 情報系概論, 化学生命系概論			担当教員氏名:竹元 嘉利, 佐藤 治夫, 金 錫範, 豊田 啓孝, 野上 保之, 塚田 啓二, 高橋 規一, 阿部 匡伸, 太田 学, 門田 暁人, 妹尾 昌治, 依馬 正, 岸本 昭, 井出 徹	
Introduction of mechanical and system engineering, Introduction to Electrical and Communication, Introduction to Information Technology, Introduction to Chemistry and Bioengineering				
履修年次 1~4	2単位	第1学期	4コマ	60分×4 (水曜1・2限, 金曜1・2限)
<p>【授業の目的】</p> <p>・機械システム系概論 機械システム系工学の全般にわたる基礎的概念の修得と学問領域に関する意義・目的の把握</p> <p>・電気通信系概論 (1) 自然と人類の共生の視点から電気通信系工学についての理解を深める。 (2) 電気電子工学の「もの」や「原理」を理解する。 (3) 通信ネットワークの「しくみ」を把握する。</p> <p>・情報系概論 情報系工学の全般にわたる基礎的概念の修得と学問領域に関する意義・目的の把握</p> <p>・化学生命系学科 化学から生命工学の全般にわたる基礎的概念の修得と学問領域に関する意義・目的の把握及び, 化学生命系の工学における位置付けを理解する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>・機械システム系概論 機械ならびにシステムに関する概要を工学系の学生に分かりやすく紹介する</p> <p>・電気通信系概論 この講義では, 電気通信系工学の学問的基礎の導入とこの分野への広い興味を喚起する。具体的には, 電気通信系工学に関する基礎的概念とそれに根ざした先端の話題の紹介を通じて, 電気通信系工学の重要性を多面的, 多角的に学ぶ。</p> <p>・情報系概論 情報系の技術の基礎知識を学ぶとともに, 各研究分野における先端的な話題を聞いて情報系の学問を習得する意義と目的を理解する。</p> <p>・化学生命系学科 身のまわりの多種多様な有機・無機化合物や生命現象を題材に, その性質やしくみおよびその利用について化学の視点から理解し, 工学の中における重要性を学ぶ。さらに生命工学とはどのような境界領域と考えればよいのかを学ぶと同時に最新の研究の意義と重要性を学ぶ。</p>				
<p>【テキスト】 適宜, 資料配付。</p>				
<p>【参考図書】 適宜, 資料配付。</p>				
<p>【成績評価の方法】 レポート 100%(ただし授業中に演習を実施する場合にはそれも考慮する)</p>				

対面授業(環境理工学部)				01024	
授業科目名: 基礎地球科学			担当教員氏名: 西村伸一・森 也寸志		
Fundamentals of Earth Science					
履修年次 1~4	1 単位	第4学期	3コマ	60分×2+1(火1・2, 金3限)	
<p>【授業の目的】 人間活動・地域環境と関連の深い地球科学に関する事項のうち, 特に地殻, 地盤, 岩石, 土壌に関する問題について基礎的知識を講述する. 地表環境を構成する地殻・地盤, 岩石, 土壌に関する基礎的知識を身につけることを目的とし, 1. 地球の外観, プレート移動, 火山活動, 2. 地盤災害の機構, 3. 岩石と土壌の生成過程を説明できることを目標とする.</p>					
<p>【授業内容】 第1週 太陽系の中の地球(位置, 形, 大きさ, 測定法, 地図) 地震(震源モデル, 活断層, 震度, マグニチュード, 地震予知) 第2週 プレートテクトニクス(大陸移動説, プレートの移動, 海嶺, 衝突) 火成・火山活動(マグマ, 鉱物, 火成岩, 火山構造, 噴火) 第3週 地球の進化(地質年代, 風化, 造山活動, 変成作用), 大気とその運動 中間試験① 第4週 土の性質と地盤沈下 地盤災害(1)地すべり 第5週 地盤災害(2)地震 地盤災害(3)降雨 中間試験② 第6週 地球の内部構造, 造岩鉱物と岩石の生成(1) 造岩鉱物と岩石の生成(2) 第7週 岩石の変成, 風化と続成作用 水循環と土壌の生成, 分布 第8週 地球の物質循環と土壌の機能 最終試験</p>					
<p>【テキスト】 1~5週: 西村担当 テキスト使用「地球科学ハンドブック」(力武常次著, 聖文社)1000円, 1992, ISBN4-7922-1332-0 6~8週: 森担当 特になし. 印刷物を配布する.</p>					
<p>【参考図書】 1~5週: 特になし. 6~8週: 参考書: 「環境土壌学」(岩田, 赤江他, 農業土木学会)3200円, 1998, ISBN4-88980-090-5 C3061</p>					
<p>【成績評価の方法】 担当教員ごとの試験(レポート, 中間試験①②, 最終試験)の合計100%として評価する. レポート, 中間試験①, 中間試験②, 最終試験の重みを, それぞれ 2/9, 2/9, 2/9, 1/3 とする.</p>					

対面授業(農学部)				01025																														
授業科目名: 農場体験実習			担当教員氏名: 齊藤 邦行																															
Experience of Farm Practice																																		
履修年次 1~4年	1単位	夏季集中	集中3日間	学研災加入を履修の条件とする																														
【授業の目的】 農学部附属山陽圏フィールド科学センターに宿泊して、実際の農場運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の重要性を理解する。																																		
【授業内容】 1. 受講を希望する学生は事前に担当教員(ksaitoh@@以下は okayama-u.ac.jp))に直接メールにて問い合わせして下さい。 8月9日(金)17:00より、農学部第3講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。 2. 実習経費として、宿泊費、食費(7食)、交流会費用、生活用品費として5,000円を徴収します。 3. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9月18、19、20日)、以下のような要領で実習を行います。 1)野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)の運営をそれぞれ体験する。 2)教員・技術職員とともに作業を行い、その必要性、合理性ならびに農業技術の体系を習得する。 3)実習日程(詳細および変更のある場合は、オリエンテーションの際に説明する)																																		
<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:33%;">9月18日(水)</th> <th style="width:33%;">9月19日(木)</th> <th style="width:33%;">9月20日(金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30-12:00 センター紹介</td> <td>6:45-7:30 牧場管理</td> <td>6:45-7:30 牧場管理</td> </tr> <tr> <td>13:00-15:00 野菜の管理</td> <td>7:30-8:30 朝食</td> <td>7:30-8:30 朝食</td> </tr> <tr> <td>15:15-15:45 移動(津高)</td> <td>9:00-9:30 移動(岡山)</td> <td>9:00-11:00 草地の管理</td> </tr> <tr> <td>16:00-17:00 牛舎実習</td> <td>9:30-12:00 果樹の管理</td> <td>11:30-12:00 移動(岡山)</td> </tr> <tr> <td>17:30-18:30(講義)岡山県の農業</td> <td>13:00-15:00 ブドウの収穫・品質</td> <td>13:00-15:00 稲刈り</td> </tr> <tr> <td>18:30-19:30 夕食</td> <td>15:15-15:45 移動(津高)</td> <td>15:00-15:30 レポート作成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16:00-17:00 牛舎実習</td> <td>16:00 解散</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:30-18:30(講義)岡山県の果樹</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>18:30-19:30 夕食</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					9月18日(水)	9月19日(木)	9月20日(金)	10:30-12:00 センター紹介	6:45-7:30 牧場管理	6:45-7:30 牧場管理	13:00-15:00 野菜の管理	7:30-8:30 朝食	7:30-8:30 朝食	15:15-15:45 移動(津高)	9:00-9:30 移動(岡山)	9:00-11:00 草地の管理	16:00-17:00 牛舎実習	9:30-12:00 果樹の管理	11:30-12:00 移動(岡山)	17:30-18:30(講義)岡山県の農業	13:00-15:00 ブドウの収穫・品質	13:00-15:00 稲刈り	18:30-19:30 夕食	15:15-15:45 移動(津高)	15:00-15:30 レポート作成		16:00-17:00 牛舎実習	16:00 解散		17:30-18:30(講義)岡山県の果樹			18:30-19:30 夕食	
9月18日(水)	9月19日(木)	9月20日(金)																																
10:30-12:00 センター紹介	6:45-7:30 牧場管理	6:45-7:30 牧場管理																																
13:00-15:00 野菜の管理	7:30-8:30 朝食	7:30-8:30 朝食																																
15:15-15:45 移動(津高)	9:00-9:30 移動(岡山)	9:00-11:00 草地の管理																																
16:00-17:00 牛舎実習	9:30-12:00 果樹の管理	11:30-12:00 移動(岡山)																																
17:30-18:30(講義)岡山県の農業	13:00-15:00 ブドウの収穫・品質	13:00-15:00 稲刈り																																
18:30-19:30 夕食	15:15-15:45 移動(津高)	15:00-15:30 レポート作成																																
	16:00-17:00 牛舎実習	16:00 解散																																
	17:30-18:30(講義)岡山県の果樹																																	
	18:30-19:30 夕食																																	
【テキスト】 特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。																																		
【参考図書】 応用植物科学栽培実習マニュアル, 森源治郎ほか監修, 養賢堂, 東京(2000)ISBN4-8425-0058-1																																		
【成績評価の方法】 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。																																		

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム・教養教育科目)				01026						
授業科目名 : Culture and Illness			担当教員氏名 : 上杉 健志							
Culture and Illness			Takeshi Uesugi							
履修年次 1～	1単位	第1学期	2コマ	60分×2(月曜3限&木曜3限)						
【授業の目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・ Understand some of the key concepts in medical anthropology. ・ Learn to take notes (lectures and discussions) ・ Learn to generate discussion questions and lead the discussion ・ Learn to write a book review 										
【授業内容】 <p>Is epilepsy a neurological disorder or a sign of blessing? Are brain dead individuals really dead? Is a fetus a person? Is a parasite part of our body? Is shamanism a hoax? Are chemical manufacturers “poisoners”? In this class we re-consider what seems like natural categories such as life and death, or body and disease, via cross-cultural examinations of medical beliefs.</p> <p>Students will be exposed to various case studies from around the world in which cultural differences in medical beliefs have led to conflicts, and learn basic concepts and ways of thinking in medical anthropology.</p>										
【テキスト】 <p>Anne Fadiman, 1997. <i>Spirit Catches You and You Fall Down: A Hmong Child, Her American Doctors, and the Collision of Two Cultures</i>. Farrar, Strauss and Giroux.</p>										
【参考図書】 <p>Living and Working with the New Medical Technologies: Intersections of Inquiry, M. Lock, A. Young, and A. Cambrosio, eds., pp.233-262. Cambridge: Cambridge University Press.</p> <p>Hacking, Ian. 2002. <i>Historical Ontology</i>, Harvard University Press.</p> <p>Fanon, Franz. 1966. <i>Wretched of the Earth</i>, pp. 203-255. New York: Grove Press</p> <p>Cohen, Lawrence , 2000. <i>No Aging in India: Alzheimer’s, the Bad Family, and Other Modern Things</i>, University of California Press.</p>										
【成績評価の方法】 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">Participation</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Book Review</td> <td style="text-align: right;">30 %</td> </tr> <tr> <td>Final Exam</td> <td style="text-align: right;">40 %</td> </tr> </table>					Participation	30%	Book Review	30 %	Final Exam	40 %
Participation	30%									
Book Review	30 %									
Final Exam	40 %									

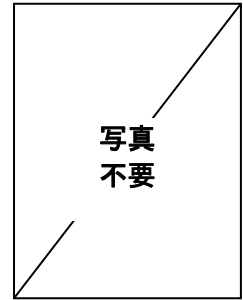
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成 年 月 日	
現住所	〒 - Tel () -				

* 履修受付締切日: 第1, 第2 学期: 4月5日(金)まで 第3, 第4 学期: 9月27日(金)まで

* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
01001	子どもの歴史の学び方	教養	桑原 敏典	1	第2 学期	1~4		月 11:00~13:50		
01002	子どもの歴史の学び方	教養	桑原 敏典	1	第4 学期	1~4		木 14:00~16:10		
01003	交流による子どもの成長支援 I	教養	桑原 敏典	1	第4 学期	1~4		月 16:20~18:30		
01004	交流による子どもの成長支援 II	教養	桑原 敏典	1	第2 学期	1~4		月 16:20~18:30		
01005	キャリアデザインVI 専門スキルを身につける 1 初級	教養	坂入 信也	2	夏季集中	1~4		4/24,6/1,7/6 8/24,25 9/1,2,3,4		
01006	キャリアデザインVI 専門スキルを身につける 2 中級	教養	坂入 信也	2	夏季集中	1~4		4/24,6/1,7/6 8/24,25 9/1,2,3,4		
01007	金融経済学	教養	大熊 正哲	1	第4 学期	1~4		木 16:20~18:30		
01008	健康・スポーツ科学C	教養	鈴木 久雄 小林 雄志	1	1~4 またがり	1~4		水 18:40~20:00		
01009	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第1 学期	1~4	詳細はシラバス参照 第1 学期と第2 学期を 合わせて受講することが望ましい。	火 14:00~16:10		
01010	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第2 学期	1~4		火 14:00~16:10		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
01011	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3学期	1~4	詳細はシラバス参照 第3学期と第4学期を 合わせて受講することが 望ましい。	火 14:00~16:10		
01012	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4学期	1~4		火 14:00~16:10		
01013	人文学概説 (日本思想史 a)	専門	本村 昌文	1	第2学期	2~4		月 16:20~18:30		
01014	対話による社会参画入門	専門	桑原 敏典	1	第3学期	1~4		金 16:20~18:30		
01015	社会科教育特講 (公民科指導法)(1)	専門	桑原 敏典	1	第3学期	2~4	社会科教育特講(公民科 指導法)(1)・(2)を合わせ て履修してください。	月 8:40~10:50		
01016	社会科教育特講 (公民科指導法)(2)	専門	桑原 敏典	1	第4学期	2~4		月 8:40~10:50		
01017	法哲学	専門	大森 秀臣	2	前期	3・4		金 19:40~21:10		
01018	光と物理学	教養	横谷 尚睦	1	第3学期	1~4	高校程度の物理の知識 を有すること。	金 14:00~16:10		
01019	保健科学入門	専門	齋藤 信也	1	第1学期	1	若干名(場所:保健 学科棟 301 室)	火 8:40~10:50		
01020	痛みの科学	教養	宮脇 卓也 他	1	第2学期	1~4		月 8:40~10:50		
01021	細胞生物学	専門	沢 禎彦 他	2	第3 第4 学期	1~4	定員 5 名	火 15:10~17:20		
01022	薬用植物学	教養	谷口 抄子	1	第1学期	1		火 16:20~18:30		
01023	機械システム系概論 電気通信系概論 情報系概論 化学生命系概論	教養	竹元 嘉利 他	2	第1学期	1~4	水曜日及び金曜日の両 方を受講すること。	水 金 8:40~10:50		
01024	基礎地球科学	専門	西村 伸一 森 也寸志	1	第4学期	1~4		火 8:40~10:50 金 11:00~12:00		
01025	農場体験実習	専門	齊藤 邦行	1	夏季 集中	1~4	●開催場所:岡山大学 農学部山陽圏フィールド 科学センター 定員 15 名程度 ●学研災加入を履修の 条件とする。	夏季集中 宿泊研修 (9/18~9/20 3日間)		
01026	Culture and Illness	教養	上杉 健志	1	第1学期	1~4		月 木 11:00~12:00		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚